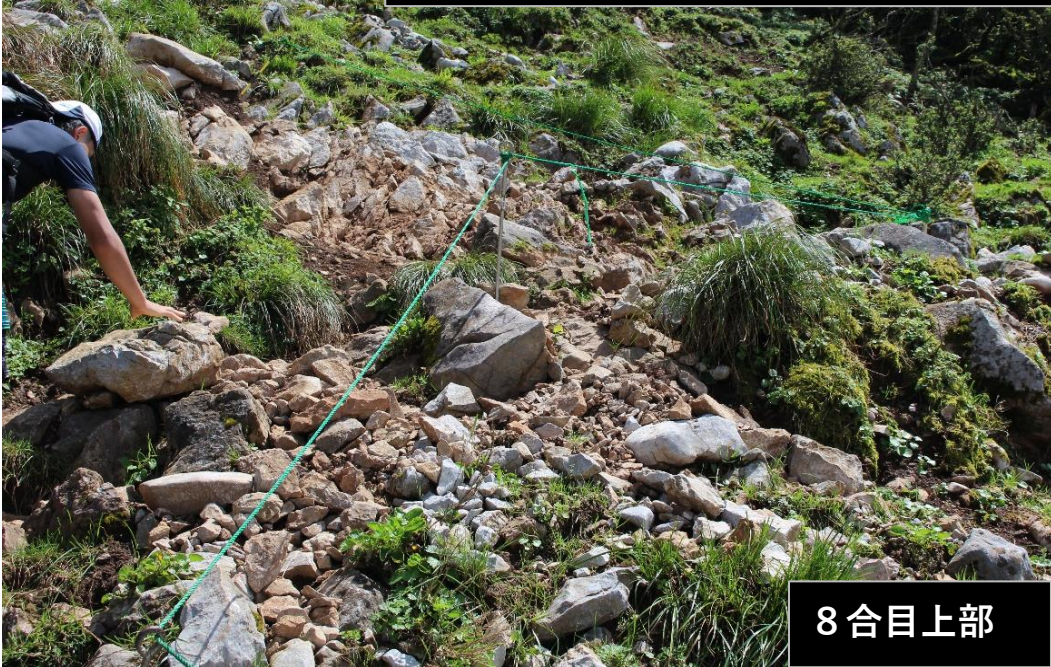


表土が無くなり落石の危険性がある登山道を緑ロープで規制



(3) 表登山道の応急保全活動の概要

①昨年度の登山道保全作業は、次の10日間実施。

○5月5、17日、6月21日

→土嚢、獣害防止ネット再利用の蛇籠等による登山道の保全

○7月12日、8月1、11、29日、9月12、26日、10月4日

→大雨被災箇所の登山道応急修復およびロープによる登山道規制



②作業方法等

- ・毎回5～6人程度で、3合目から板、鉄杭、ネット等資材や工具を担ぎ上げ、手作業による応急作業。
- ・登山道復旧の方法は、斜面に板を鉄杭で固定し獣害防止ネット再利用の蛇籠や土嚢を設置して斜面の崩壊防止、登山の安全確保。

2 中腹斜面の広範囲で深刻な植生の破壊

中腹の広範囲にわたって、食害によって裸地化した斜面で大雨により土砂が大量に流出したため、かつては緑で覆われ季節折々の花々が咲き誇った豊かな植生を想像することすらできない深刻な植生の破壊が発生した。

